

和歌山こども将棋大会対局規定

大会競技方法

- ◎小学校 1～3 年生、4～6 年生、中学生の部に分かれて行います。
- ◎個人戦でトーナメント（勝ち抜け）方式で行います。
- ◎机の番号札と手合いカードの番号を、確認してください。
※手合いカードは大会当日に配付します。
- ◎トーナメントの組合せは、事前に事務局にて行います。
- ◎表彰は 1 位～4 位までとします。

ルール

- ①対局は持ち時間各自10分とします。（10分切れたら30秒の秒読みとなります。）
※進行の都合上、持ち時間が減る場合もあります。
- ②総平手戦です。先手・後手の決め方はふり駒で決定する。
※どちらかが「歩」を5枚ふり、「歩」がたくさん出たらふった者の先手。
「と金」がたくさん出たら相手の先手となる。
- ③対局には対局時計を用い、その位置は後手が決めることができる。時計は指した手で押さなければならない。逆の手で押した場合は審判の判定を受けることとする。
- ④待ったはなし。手をはなしたら指した手を変えることはできない。助言はなし。その場合は退場してもらうこともある。
- ⑤「二歩」やそのほかの反則があったときは負けとする。ただし、投了後に気づいたときは、勝負通りとする。
- ⑥千日手は連続王手以外、先手・後手を交代し指しなおす。
※同一局面が4回発生した場合、千日手となる。時計を止めてすみやかに審判員に申しでること。
- ⑦相入玉の場合は、持ち点で相手より1点でも多い者が勝ちとなる。
持ち点が同点の場合は「後手」の勝ちとします。
- ⑨その他問題がおこったときは、その場で手をあげて審判員の指示に従うこと。
- ⑩本大会は審判員の判定を最優先とする。

注意事項

- ホール内での水分補給は大丈夫ですが、食事はできませんので、ご協力ください。
- 対局中、反則など問題がおこったときは、その場で手をあげてください。
- 保護者席は会場内に設けていますので、そのエリア内での観覧をお願いします。
また、撮影時にはフラッシュをたかないなど、対局者への配慮をお願いします。
- このほか、わからないことがありましたら、遠慮なく近くの係員に申しでてください。